

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

内閣総理大臣 安倍晋三 様
文部科学大臣 林 芳正 様
東京医科大学 理事長職務代理 唐沢昌敬 様
東京医科大学 学長職務代理 宮澤啓介 様

東京医科大学の女子受験者を含む入試得点操作に強く抗議します

2018年8月3日新聞各社から、これまでの約10年間、東京医科大学で女子受験者の入試得点が操作され合格者が3割に抑えられていたことが報道されました。

キリスト者としてジェンダー平等社会の実現を求めるわたしたち、日本聖公会正義と平和委員会ジェンダープロジェクトと女性に関する課題の担当者は、このような不正に怒りを覚え、強く抗議します。「女性の医師は結婚や出産などで現場を離れることが多く、系列病院の医師不足を避けるため」という理由が挙げられていますが、いかなる理由があっても性別による差別は許されるものではありません。結婚や出産をしても女性の医師が働き続けることのできる環境整備が重要なものであり、女性の医師を減らし男性の医師を増やすことで解決を図ろうとするのは、あまりに稚拙だと言わざるをえません。

東京医科大学の得点操作は女性の社会的役割を一方的に切り捨て限定することで男性の優位を図ろうとするものです。これは女性から教育機会を奪い専門職としての就労から遠ざけようとする差別的で不当な行為です。このような女性や少女の人権を踏みにじる行為を断じて許すことはできません。

また、すべてのいのちを分け隔てなく尊重しなければならない医療者の養成機関である貴学において、そのスタートから本人に何ら責任のない「性別」という属性によって差別されたことは、神から与えられたすべてのいのちを尊重するキリスト者の立場からも決して容認できるものではありません。

すでに調査委員会の報告がなされ、その事実関係が公になっていますが、わたしたちはこれらの不正に対して強く抗議するとともに、以下のことを要望します。

- ① 今回明るみになった得点操作によって不利益を被った受験者に対して謝罪し、必要な措置を講じることを求めます。
- ② すべての教育機関の入学試験が性別や浪人の回数などで差別されていないか、平等で公正な判定が行われているかを調査し、不公正がある場合は徹底して是正することを求めます。
- ③ 政治、経済、教育などあらゆる分野で、男女が平等に参画できるよう法を整備することを求めます。ことに教育現場において、性差に基づく偏見の解消に努め、ジェンダー平等社会を実現するための教育を徹底することを強く要望します。

2018年8月20日

日本聖公会正義と平和委員会 委員長 主教 上原榮正
日本聖公会正義と平和委員会 ジェンダープロジェクト代表 篠田茜
女性に関する課題の担当者 司祭 大岡左代子、吉谷かおる